



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



虫送り（高松市庵治町）

目次

1. 香川県並びに香川県議会へ農業農村整備事業の推進を要望 2~3
2. 水と土と農・広報キャンペーン展開 4~5
3. 県営ほ場整備事業草木地区竣工記念碑除幕式举行 6
4. 第 26 回香川用水水口祭／田んぼの学校開校 7
5. 平成 22 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会開催 8
6. 土地改良相談所開設 8
7. 会と催し 9
8. 暑中お見舞い申し上げます 10

香川県並びに香川県議会へ 農業農村整備事業の推進を要望



要望書を受け取る真鍋知事(左)と手渡す大山会長(右)

県議会では、篠原公七議長、平木享副議長、山田正芳経済委員長、尾崎道廣自由民主党議員会長、山本直樹同幹事長、黒島啓同政務調査会長が議長室に一堂に会され、要望書受理の後、本県の農業・農村の厳しい状況に触れ、過疎化や高齢化の進行、担い手不足による耕作放棄地の拡大等の防止策についてなど質疑応答が熱心に交わされた。



要望書を受け取る篠原議長（右）

去る 6 月 23 日、本会の大山茂樹会長、組橋啓輔副会長ら役員総勢 13 名が香川県庁と香川県議会を訪問し、農業農村整備事業の推進について要望した。

県庁では、真鍋武紀県知事を筆頭に高木孝征副知事、天雲俊夫政策部長、西原義一農政水産部長へ要望書が手渡され、「食」と「地域」の早急な再生を図るためには、農業農村整備事業の計画的かつ効果的な推進が必要不可欠であり、平成 23 年度予算の編成について、県の特段のご配慮をお願いした。



▲ 知事室にて



▲ 要望内容の説明（議長室にて）

要 望 書 全 文

農業農村整備事業の推進につきましては、平素より特段のご高配を賜り、香川県土地改良事業団体連合会関係者一同心からお礼申し上げます。

本県の農業・農村は、過疎化や高齢化が進行し、担い手不足による耕作放棄地の拡大や食料自給率の低迷、さらには地域活力が低下するなど、極めて厳しい状況にあります。

このような中、国は、本年3月末に「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、食料・農業・農村政策を国家戦略の一つとして位置付け、「食」と「地域」の早急な再生を図ることとしたところであります。

しかしながら、具体の政策を推進するための予算につきましては、国の平成22年度農業農村整備事業予算は前年度に比べて4割を下回り、新たに創設された農山漁村整備交付金を加えても6割余に止まっております。また、県予算につきましても対前年比65%と大幅な削減となったところであります。

厳しい財政状況とは存じますが、「食」と「地域」の早急な再生を図るためには、農業農村整備事業の計画的かつ効率的な推進が必要不可欠であるとの会員からの強い要望がなされています。

このため、本会では、会員の負託に応え、地域住民の理解を得て、農業農村整備事業のより一層の推進に努めてまいりたいと考えています。

つきましては、本会会員の熱意をご賢察のうえ、平成23年度予算の編成にあたり、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 農業農村整備事業に係る諸施策の積極的な展開に必要な予算の確保を政府及び関係機関に対して強く働きかけること。
2. 県予算については、農業農村整備事業の計画的かつ効率的な推進ができるよう、十分に配慮すること。

平成22年6月23日

香川県土地改良事業団体連合会
会 長 大 山 茂 樹

水と土と農・広報キャンペーン展開

水土里ネット香川

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所

中国四国農政局香川用土器川沿岸農業水利事業所

6 月 15 日、満濃池の初ゆる抜きにあわせて、本会では 21 世紀土地改良区創造運動の一環として「水と土と農・広報キャンペーン」を実施。

今年のキャンペーンは、水土里ネットの役割の PR と農業水利施設をはじめとする地域資源の重要性の啓発について、生憎の空模様ではあったが、国、県、市町、水土里ネットの役職員 38 名の参加を得て行われた。

午前 10 時、広報キャンペーンの開会にあたり、主催である本会の山地常務理事から動員お礼の挨拶、共催の中国



四国農政局四国調査管理事務所の田中所長、同香川用土器川沿岸農業水利事業所の渡邊所長の挨拶の後、堤体下流の駐車場入口、神野神社前に別れ水土里ネットを紹介した冊子「水土里の風」と農業水利施設の保全啓発パンフレット、農業経営高校で購入した「花の苗木」の配布とともにため池関係を主眼にしたアンケート調査を実施した。

四国土地改良調査管理事務所は、ため池や河川に生息する絶滅危惧種の魚や水生植物の展示説明、香川用土器川沿岸農業水利事業所は、事業実施地区の概要及び食生活の食事バランスガイド冊子の配布等をそれぞれのブースで行った。

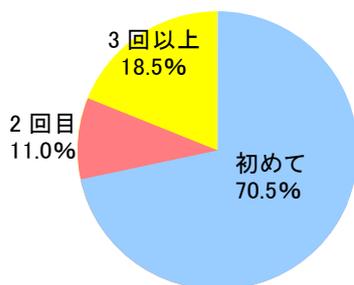
また、本年は、NPO 法人『空海』の方々十数名にも広報活動に加わって頂いたことを追記しておく。



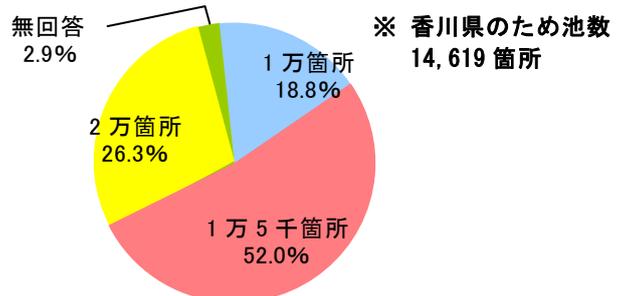
アンケート結果の集約

本年は、例年の休日開催でなく平日開催で、しかも生憎の空模様であったにもかかわらず、307 名の方々にアンケート調査に協力して頂いた。

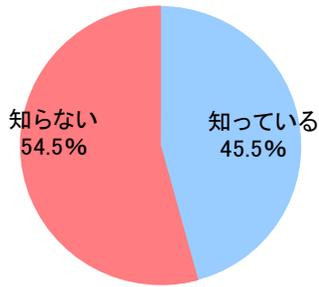
満濃池のゆる抜きを見るのは？



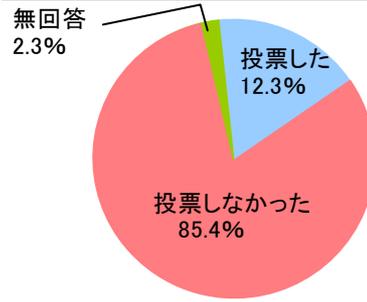
香川県のため池の数は何箇所ほどでしょうか？



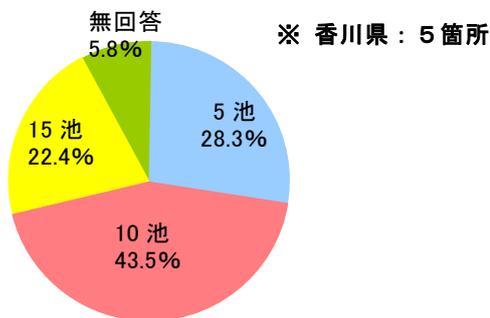
全国「ため池百選」
を知っていますか？



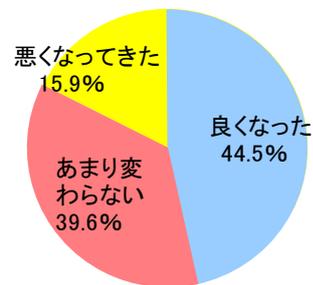
「ため池百選」選定候補ため池
に投票されたでしょうか？



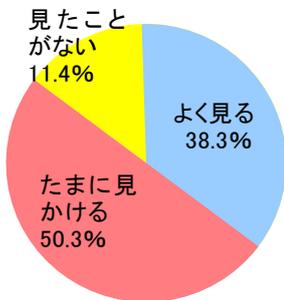
香川県で「ため池百選」に何箇所の
ため池が選定されたでしょうか？



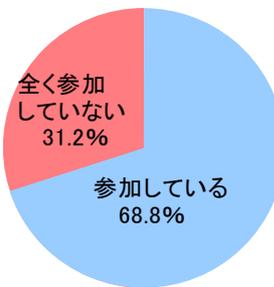
「最近、ため池の水質に
ついてどう感じますか？



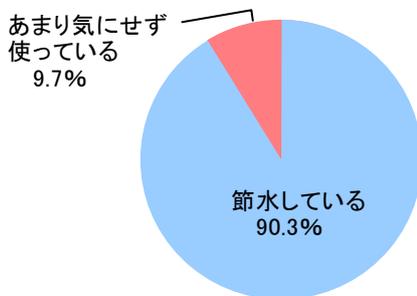
ため池にゴミ（ペットボトル等）が
浮遊しているのを見かけますか？



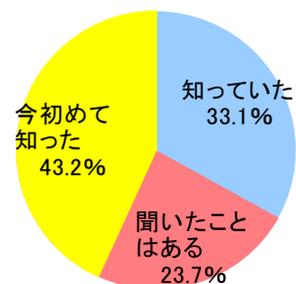
お住まいの近くの水路、ため池の
清掃活動に参加していますか？



常日頃から、節水に
務めていますか？



「水土里ネット」は土地改良区の
愛称ですが、ご存じでしたか？



以上 10 項目について集約したが、広報活動の成果は、指標化・定量化して示すことが困難であることから、明示的に評価することができない難しさがある。

今後においては、「水土里ネット」について、耳学問的に理解されてきた方が過半数を上回ってきたが、これらの方々をいかにして同じ土俵で取組むように仕向けるかが我々に課せられた課題でもある。いずれにしても、広報活動は「一朝一夕」に解決は難しく、各種のイベント等を活用し、手を変え品を変え根気強く地域全体に定着するよう努めて参りたいと考えているところである。

県営草木工区ほ場整備工事竣工記念碑除幕式及び祝賀会

去る 6 月 27 日、三豊市仁尾町において、県営中山間地域総合整備事業詫間・仁尾地区南草木団地草木工区ほ場整備工事の竣工を記念して記念碑の除幕式が挙行された。式には草木工区ほ場整備役員、来賓として香川県議会組橋議員（水土里ネット香川副会長）、香川県西讃土地改



瀬戸内海を望んだ工事後の草木工区全景



良事務所池田所長、三豊市建設経済部横山部長等多数の関係者のご臨席のもと厳粛に執り行われた。除幕式後、会場を南草木成年センターに移し祝賀会が盛大に催され、関係者・役員方々の労をねぎらった。

また、「せまい道しかないところだったのにほ場整備のおかげでええ道ができ、ほんまによくなった」と式典に出席された多数の方々が喜ばれていた。

区 分	ほ場整備 草木工区の概要
工事内容	整地面積：4.4 ha 耕作者数：50名 ほ地数：施工前 133 筆⇒施工後 78 筆 支線農道：幅員 3.0～4.0m 用排水路： （用水路）塩ビ管：φ50～150mm 取水源：丸山池 山吹池 （排水路）U型水路：幅 0.30～0.50m
工事期間	平成 19 年度～平成 20 年度
総事業費	56,000 千円
関連事業	農業集落道整備 農道整備



記念碑除幕の儀

第 26 回 香川用水水口祭

三豊市財田町の香川用水記念公園内の香川用水東西分水工において、本格的な田植えシーズン到来を告げる「香川用水水口祭」が 6 月 11 日催行された。

水土里ネット香川用水の組橋理事長ほか役職員と来賓として真鍋香川県知事や県、市、水利組合代表者と本会の大山会長も神事に参列し、祝詞奏上と玉串奉奠を執り行った。



神酒奉灌式

この日は、好天に恵まれ大勢の見物人が見守る中、水路に御神酒が注がれると水柱が勢いよく吹き出して水が流れ始めた。関係者一同、水への感謝の気持ちを新たにするとともに配水の安全と秋の豊作を祈願した。

香川用水の農業用の取水量は日量 12 万トンから約 3 倍に増量され、8 市 6 町の水田約 25,000 ヘクタールを潤している。



大野原龍王太鼓

田んぼの学校開校

～ニコニコ田で待望の田植え～



水土里ネット屋島仲池（理事長 谷口 辰男）では、次世代を担う子どもたちに農業体験を通して地域の歴史や農業の果たす役割を知ってもらうため、高松市立屋島小学校 4 年生児童を対象に田んぼの学校を開校。塩水選、モミ蒔きにはじまり田植えから秋の稲刈り、餅つきまで年間を通して米作りについて指導している。

6 月 21 日、4 年生児童と保護者が“ニコニコ田”に集まり、手植



えによる田植えを行った。最初はぎこちなかったが、徐々に慣れ 1 時間ほどで田植えは終了した。

児童らは秋には稲刈りも体験し、刈り取ったモチ米は 1 年生から 6 年生までの児童全員で餅つきを行い、地域のお年寄りなどに配るとともに全員で食する予定で、秋の収穫を楽しみにしている。



平成 22 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会 管理専門指導委員会開催

去る 6 月 28 日、本会会議室において平成 22 年度香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導委員会が開催された。

この管理専門指導委員会は、土地改良施設の円滑な管理を図るため、土地改良施設の点検、整備、操作等土地改良施設の管理に関する専門技術的な診断・管理指導を行うことを目的としている。



開会にあたり、本会山地常務理事から出席者に対しお礼と、翌年度の土地改良予算の確保に向けた活動にご協力をお願いしたいとの挨拶があった。

続いて、香川県農政水産部土地改良課高尾課長より、次期総合計画の一つとして香川県農業農村基本計画の策定に取り組んでおり、生産基盤の進め方及び農業水利施設の維持をテーマに 10 年後の農業を見据えて政策の展開を考えていくとの挨拶があり、その後、下記の項目について協議がおこなわれた。

- ・平成 22 年度土地改良施設管理円滑化事業施設の診断・管理指導・相談等運営計画（案）について
- ・平成 22 年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画について



土地改良相談所開設

定期相談日

毎月 5 日、15 日、25 日に香川県土地改良事業団体連合会の本部及び各支所で開設しています。出張相談も行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

相談業務の範囲は次のとおりです。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争などについての調停及び指導
2. 土地改良事業計画の作成及び工事の実施に関する助言及び指導
3. 土地改良事業主体の運営上の問題に関する助言及び指導
4. 土地改良施設の機能、検査等維持管理に関する援助及び指導
5. 農業水利に関する調停及び指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する援助及び指導
8. その他

【問い合わせ先】企画指導課：多田、泉川 TEL：087-822-0303
FAX：087-851-1787

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
6 月 11 日	第 26 回香川用水水口祭（香川用水土地改良区）	三 豊 市
〃	平成 22 年度牛川地区基盤整備事業推進協議会総会	綾 川 町
14 日	仁池初ゆる抜き式（綾歌郡仁池土地改良区）	丸 亀 市
〃	平成 22 年度第 1 回水土里情報利活用促進事業中国四国ブロック会議	岡 山 市
15 日	満濃池初ゆる抜き式典（満濃池土地改良区）	まんのう町
〃	平成 22 年度三豊市担い手育成総合支援協議会幹事会	三 豊 市
〃	平成 22 年度中国四国地域技術情報連絡協議会	岡 山 市
16 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会並びに 21 世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式	徳 島 市
〃	全国農地集団化協議会第 58 回通常総会	東 京 都
16 日 ～17 日	平成 22 年度農業集落排水（ストックマネジメント）研修会	東 京 都
16 日 ～18 日	平成 22 年度実践技術研修（技能高度化）	岡 山 市
18 日	平成 22 年度吉野川総合開発香川用水事業推進協議会総会	高 松 市
21 日	平成 22 年度第 1 回香川県農業農村整備広報編集委員会	高 松 市
22 日	香川県農業会議常任議員会議	高 松 市
22 日 ～23 日	平成 22 年度農業土木技術研修＜V E 技術（基礎）＞	岡 山 市
23 日	農業農村整備予算確保のための陳情	高 松 市
24 日 ～25 日	平成 22 年度農業土木技術研修＜V E 技術（チームリーダー育成）＞	岡 山 市
25 日	平成 22 年度災害復旧事業担当者研修会	高 松 市
〃	平成 22 年度第 3 回観音寺市地域担い手育成総合支援協議会幹事会	観音寺市
27 日	主基斎田お田植えまつり	綾 川 町
〃	県営ほ場整備事業草木地区竣工記念碑除幕式	三 豊 市
28 日	平成 22 年度土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会	高 松 市
29 日	平成 22 年度土庄町担い手育成支援協議会総会	土 庄 町
30 日	平成 22 年度土地改良管理指導担当者会議	東 京 都
7 月 2 日	平成 22 年度土地改良補償業務研修	岡 山 市
7 日	小豆島町耕作放棄地対策協議会総会	小豆島町
7 日 ～9 日	平成 22 年度農業土木技術研修（C A D 技術）	岡 山 市



暑中お見舞い申し上げます

平成 22 年 7 月

香川県土地改良事業団体連合会

会 長	大 山 茂 樹	理 事	佐々木 勇
副 会 長	組 橋 啓 輔	"	村 上 明 秋
常 務 理 事	山 地 孝 士	代 表 監 事	森 川 光 典
理 事	石 原 收	監 事	稻 尾 正 成
"	十 川 昭 五	"	菰 渕 將 鷹
"	泉 川 静 雄	顧 問	猪 熊 薫
"	三 笠 輝 彦	参 事・事 務 局 長	湊 敏 好
"	谷 久 嘉 典	総 務 課 長 (兼)換地登記課長	野 瀬 康 弘
"	松 岡 正 博	調 査 設 計 課 長 (兼)農 業 集 落 排 水 課 長	鎌 田 忠
"	千 葉 宗 和	企 画 指 導 課 長	多 田 竹 夫
"	篠 原 静 夫	電 算 課 長	大 河 仁 司

ほか職員一同

大川支所

(兼)支所長 上 原 秀 雄

小豆支所

(兼)支所長 鎌 田 忠

中部支所

支 所 長 上 原 秀 雄

主 幹 岡 賢 治

(兼)支所次長

支 所 次 長 武 下 幸 徳

仲多度支所

支 所 長 内 海 幾 夫

主 幹 安 川 哲 生

(兼)支所次長

支 所 次 長 太 田 久 夫

三豊支所

支 所 長 高 木 康 博

支 所 次 長 前 川 公 則

ほか支所職員一同